

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

計画の名称	茨木市における総合的な下水道整備の推進（その2）											
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	茨木市											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	332	A	332	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	特定環境保全区域内における人口普及率を当初：65.1%（H27）から97.4%（H31）に増加させる。【当初：65.1%（549人/844人）から97.4%（838人/860人）】			
	特定環境保全区域人口普及率	65%	96%	97%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）【当初：65.1%（549人/844人）から97.4%（838人/860人）】			
2	下水道処理人口普及率を当初：99.2%（H27）から99.4%（H31）に増加させる。【当初：99.2%（278,386人/280,524人）から99.4%（290,670人/292,400人）】			
	下水道処理人口普及率	99%	99%	99%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）【当初：99.2%（278,386人/280,524人）から99.4%（290,670人/292,400人）】			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
定量的指標②下水道処理人口普及率の現況値及び目標値は、現況値99.2%（H27当初）、中間目標値99.4%（H29末）、最終目標値99.4%（H31末）である。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H27	H28	H29	H30	H31						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
下水道事業	A07-001	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（ 污水）	新設	中央処理区污水管渠整備 事業（公共下水道）	L=2330m φ200～800 開削・ 推進・実施設計	茨木市	■	■	■	■	■	256	—	—			
	A07-002	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（ 污水）	新設	中央処理区污水管渠整備 事業（特定環境保全公共 下水道）	L=560m φ200 MP1基設置 開 削	茨木市	■					30	—	—			
	A07-003	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（ 污水）	新設	高槻処理区污水管渠整備 事業（公共下水道）	L=340m φ200 開削	茨木市					■	46	—	—			
												小計							332			
												合計								332		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	32	14	31	15	32
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	10
交付額 (c=a+b)	32	14	31	15	42
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	32	14	31	15	42
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	—	—	—	—	—

(参考様式) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



